

# 研修マニュアル(病理部) ver.1.0

(2022/12/09 作成)

## 【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:25~ ミーティング  切り出し	8:25~ ミーティング  切り出し	8:25~ ミーティング 9:00~ 外科病理勉強会 切り出し	8:25~ ミーティング  切り出し	8:25~ ミーティング  切り出し		
午後	検鏡  16:00~16:30 抄読会	検鏡 13:30~呼吸器 内科 Cf	検鏡	検鏡  16:00~皮膚科 Cf	検鏡		
夜 (希望者のみ)	19:00~消化管 Cf (月 2 回)	19:00~泌尿器 Cf (月 1 回)	17:30~ 細胞診勉強会 18:30 岐大パネル	17:30~がんゲノム エキスパートパネル 18:30~骨軟部腫瘍 Cf (月 1 回)			

Cf: カンファレンス      カンファレンス・勉強会は 1 時間程度

### ◎到達目標

病理部研修時の到達目標の目安

※研修医個々の能力および研修に対する態度によって到達度が大きく異なる可能性があります

#### 【知識】

- ・病理標本作成の過程が理解できる。
- ・病理診断(組織診断・迅速組織診断)・細胞診の過程が理解できる。

#### 【技術】

4 週間: 手術症例診断 20 例

標本作成 1 例、迅速見学 1 例、細胞診見学

病理解剖(見学あるいは CPC 参加)1 例 ※対象症例がない月もあります。

8 週間: 手術症例診断 20 例、生検症例診断 10 例

病理解剖(見学あるいは CPC 参加)1 例 ※対象症例がない月もあります。

研修開始前に病理診断科長に連絡を取って下さい。

## ◎ミーティング

毎朝、8時25分から行われるミーティングに参加します(5分程度)。ミーティング初回、外科病理勉強会初回には自己紹介、挨拶をお願いします。

## ◎切り出し、標本作成プロセスの学習

切り出しとはホルマリン固定された臓器の肉眼像を観察し、病変部を確認しながら病理検体を切り出す作業です。毎日午前中に行われています。見学するとともに、実際に診断する検体の切り出しを行います。

切り出し、包埋、薄切、染色などの標本作成のプロセスを実際に1回体験し、一連の流れを習得してもらいます。特殊染色、免疫組織化学染色についても、相談に応じます。

## ◎検鏡、診断の下見

病理指導医・専攻医と相談しながら、自身で切り出しを行った症例の病理組織診断を行います。病理診断における基本的なものの見方、レポートの書き方を指導します。手術標本を中心とした研修を予定していますが、診断してみたい臓器・領域があれば、対応できますので申し出てください。

## ◎病理解剖

解剖が入った場合にはお知らせしますので、可能な限り見学してください。また、臨床病理検討会(CPC)についても開催予定を事前にお知らせします。

## ◎抄読会・セミナー

毎週月曜日抄読会セミナーを開催しています。英文論文の紹介(抄読会)や研究発表(プロGRESSレポート)を輪番制で行っています。少々難しいものもありますが、興味がある皆さんを歓迎します。実際に文献抄読を担当してもらいます。

## ◎症例検討会

多数のカンファレンスを行っています。ぜひご参加ください(夜は希望者のみ)。

毎週水曜日9時から検鏡室で行われる外科病理検討会では、月1回程度、症例プレゼンテーションを担当してもらいます。

## ◎サポートおよびトラブル発生時の対応(PHS と不在時間)

わからないこと、困っていることがあったら必ず上級医に相談すること。

欠勤・遅刻・早退を含め、何かあるときには下記まで必ず連絡してください。

非公開